

## 平成22年度の成果

プログラムの目的のため、3科目を行い、1科目を休講とした。

### (1) 国際研究集会企画演習

大学院生が中心となり小規模の国際研究集会を企画・立案・実行した。

1. International Workshop on “Recent Developments in Hadron Physics”  
(平成22年8月2日) 11名参加
2. International Workshop on Mathematical and Physical Foundations of Discrete Time Quantum Walk (平成23年3月29、30日) 東日本大震災により中止

### (2) 国際研究実地演習

大学院生を外国の主要な研究機関の現場等へ派遣し、国際的な環境の中で研究を発展させる。あるいは外国での学会に参加し研究発表するのを支援する。

派遣は11名で、派遣先内訳(延数)、アメリカ4名、ドイツ4名、フランス2名、韓国1名、スイス1名、オーストリア1名、である。

### (3) 研究企画演習

今年度は休講とした。

### (4) 英語理学講義

外国人講師7名を招聘し、以下のタイトルで英語による講義を行った。

1. Dark Matter Evidence, how much, where, what is it (Guido Chincarini氏、Universita di Milano-Bicocca)
2. Orbital evolution of X-ray binarie (Biswajit Paul氏、Raman Research Institute)
3. Topics in Strangeness Nuclear Physics (Avraham Gal氏、Hebrew University)
4. Examining nuclei and nuclear models by two-nucleon removal (Jeffrey Allan Tostevin氏、University of Surrey)
5. Sending a photon backwards in time (Seth Lloyd氏、Massachusetts Institute of Technology)
6. Precision measurements with spin-polarized atoms (Michael V Romalis氏、Princeton University)
7. Hadron Physics at KEK-Belle and BNL-RHIC (Seidl, Ralf氏、理化学研究所)

(5) 上記の3科目に加えて、FGIP:Foreign Graduate Students Invitation Program を行った。

外国の博士課程の大学院生を招聘して、日本人大学院生との共同研究を支援した。

招聘はアメリカからの1名である。

当プログラムは平成21年11月に学内評価を受け、高い評価(評価A)を得たため、平成22～24年度に大学による支援が継続している。

ホームページをupdateした。